

高校生×鹿屋市長

新春 対談



就職について、本音トーク！

GUEST
今年春に社会人となる
高校3年生の皆さん！

対談会場
鹿屋女子高校
今回の対談に際して、特別に4階の図書室と屋上での写真撮影の許可をいただき、撮影を行いました。

地元での思い出と
就職先を選択した理由

市長 皆さん、あけましておめでとうございます。今回は就職についての本音トークということで、高校生の皆さんの意見を聞かせていただきたいと思えます。さて、本市では就職や進学でほとんどの高校生が市外と県外に転出する状況（8ページ）市内高校生の卒業後の進路状況参照です。地元で働いてもらうためにはどのようにしたらよいかというのは、本市を含めた全国的な課題であり、行政はもちろん民間の事業者の方々も現代の若者の職業観がどのようなものか強い関心を持っています。

今回は、就職が決まっている高校3年生の方を集まっていたきました。まずはこの地で育った思い出と、就職先を決めるに至った動機について教えてください。

岩倉さん 私は毎朝登校中に地域の方から温かい言葉を頂くことが多かった思い出があります。そんな地域の方と親に恩返ししたいという気持ちで、地元での就職を決めました。会社は九州電力グループの中でも、比較的新しい会社で同世代も多く、エリア採用という形なので鹿屋市を含めた周辺自治体での勤務になると思います。

和田さん 私はソフトボール部で一生懸命部活動に打ち込んだ記憶が残っています。トヨタ自動車を希望した理由は、資格取得の際に知った「技能オリンピック」で同社が優秀な成績を取っていて、私もプロとして人間性や技術を高めたいと思って志望しました。

塩浦さん 私は祇川町出身で、棒踊りやおはら節などの伝統芸能に触れて楽しかったことを覚えています。日本郵便に内定を頂いているのですが、職場見学に行った際に地域の幅広い年代の人と和気あいあいと話している姿を見て、就職を決めました。また、自宅から1時間以内の局で働けることもうれしいポイントです。

白坂さん 私は大崎町に住んでいて、8月の「大崎七夕さあ」で音楽に合わせた花火を見て、元氣付けられた記憶があります。金融機関で働くことを決めた理由は、担任の先生の紹介で金融機関2社の職場体験をしたのですが、その時に地元の人とすごく親しげに話しながら、仕事をしているところを見て、鹿児島興業信用組合への就職を決めました。



県内
鹿屋女子高校
情報ビジネス科
しおくら めい
塩浦 明さん
鹿屋中学校出身で美術部の副部長。課題研究として鹿屋女子高校と南九州ファミリーマートがコラボした商品「バタービスケットサンド」のパッケージデザインを作成した。日本郵便株式会社九州支社に内定。



県外
鹿屋農業高校
農業機械科
わだ かいら
和田 海星さん
第一鹿屋中学校出身で、ソフトボール部。令和6年の佐賀国体では県代表メンバーに選抜され、優勝に貢献。技能検定（機械加工普通旋盤）2・3級を所持。株式会社トヨタ自動車に内定。



県内
鹿屋工業高校
電気科
いわくら しんたろう
岩倉 心太郎さん
第一鹿屋中学校出身。ソフトテニス部のキャプテンで、生徒会長。人と関わるのが好きで、地域で接客できる仕事を選択した。株式会社九電送配サービスに内定。



県内
鹿屋中央高校
人間科学科教養コース
しらさか みひろ
白坂 美弥さん
大崎町出身で、スクールバスで学校に通う。日商簿記3級、電卓計算普通計算1級、ビジネス計算1級、情報処理速度検定（タイピング）2級を保有。鹿児島興業信用組合に内定。